

A 192 女子学生寮における食生活の研究(第2報)栄養摂取量および相互関係  
甲子園短大 富田絹子 ○西田美枝子 山下慶子  
大阪市環科研 榎元慶子

目的：第36回本学会においてK女子短大寮の昭和57年度における食品、栄養摂取量調査を行い、Ca, Feがやや低値、脂肪エネルギー比のやや高いことを報告したが、今回さらにこれらの相互関係を明らかにしたので報告する。

方法：前報と同じK女子短大寮、学生約30人、3食とも寮で調理、喫食している。対象は昭和58年4月～59年3月の1年間262日分の献立で、エネルギーおよび栄養素17項目(今回、粗繊維, Na, Kを追加)を4訂食品成分表により算出、季節別、年間平均値、標準偏差(SD)、変動係数(CV)を求め、季節間比較(t検定)を行った。さらに栄養量17項目間の相関行列を作成し、相互関係を検討した。

結果：(1)寮生は生活活動強度II、身長平均157cm、年令平均19才である。その栄養所要量と比較すると、Feはやや下まわったが、Caは今回は充足、脂肪エネルギー比、蛋白質、VA, VCはかなり高値を示した。CVはVAが50%とこえたが、他の項目は低く、年間安定した摂取状態にある。

(2)季節差について $p < 0.05$ の有意差が見出されたのは、脂肪が春季・夏季間に、脂肪エネルギー比が春季・夏季、秋季間に、動物性脂肪比が春季、夏季・冬季間などである。

(3)相関関係 エネルギーおよび各栄養素間の相関行列によると、 $r > 0.6$ の高い相関を示したのは、エネルギー・糖質、脂肪、蛋白質、P, Fe, 蛋白質・P, Fe, Na, K, VB<sub>2</sub>, 糖質・P, 粗繊維・Fe, K, Ca・P, P・Fe, K, VB<sub>2</sub>, K・VB<sub>2</sub>などであった。